川崎区の役立つ福祉情報をお届け~

平成 29 年 1 月 1 日

第 98 号



○ 川崎区社会福祉協議会福祉パルかわさき

発行 社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会 福祉パルかわさき 川崎市川崎区日進町 1-11 川崎ルフロン8階

電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741 Email info@kawasakikushakyo.or.jp 川崎区社協ホームページ http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/



[発行人] 大橋 新太郎

[編集人] 編集委員会

次 目

- 1 平成 28 年度 川崎区社協福祉まつり開催報告 川崎区社会福祉協議会の地域包括ケアシステムの取組み
- 共同募金運動にあたたかいご協力ありがとう ございました!

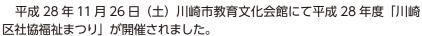
「ちょこボラ!」~カフェボランティア養成講座~ 助成金配分団体の活動紹介 川崎区障害者ス ポーツ交流会

賛助会員募集結果の報告

- あなたの身近な地区社協福祉協議会の活動等紹介
- ・渡田地区社協・大島地区社協
- · 小田地区社協 · 田島地区社協
- ・中央第一地区社協・中央第二地区社協
- ·大師第一地区社協 · 大師第二地区社協
- · 大師第三地区社協 · 大師第四地区社協 平成 29 年度 川崎区内老人いこいの

家教養講座についてのご案内 譲ります・譲ってください ほほえみコーナー

平成 28 年度 崎区社協福祉まつり 開催報告



当日は天候にも恵まれ、1,370名のご参加をいただきました。今年は法人 設立 20 周年を記念して大ホールでの開会式 (オープニングコンサート)、社 会福祉大会(地域福祉活動に貢献した方へ表彰状・感謝状を贈呈)、かわさき マルシェ(福祉作業所の自主製品販売・社会貢献企業の出店など)、ふれあい

> エリア(福祉活動紹介・体験)、ステージ(保 育園児や太鼓などの一芸披露)、親子で楽しむ ゆかいなコンサート (体操編)、親子でベビー ヨガなど、様々な企画が催されました。



様々な地域の福祉活動に"ふれあいエリア



みんなで一緒に 作って遊ぼうコ



様のご協力のもとで



ゆかいなコンサート (体操編)

川崎区社会福祉協議会の 地域包括ケアシステムの取組み

川崎区社会福祉協議会では、川崎市の新しい地域福祉の 仕組みづくり 【地域包括ケアシステム】 に協力して、自助(一 人ひとりの取組)と互助(近隣住民やボランティア団体等 の助け合い)の推進に取り組んでいます。

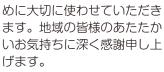
自助の取り組みとしては、老人福祉・地域交流センター やいこいの家で教養講座の開催や、健康の日での血圧測定 と、体力測定会など自身の健康を再確認し、生きがいを持っ て元気に過ごせるような事業を企画しています。

互助の取り組みでは、地域福祉に関心を寄せ、お互いに 助け合える地域づくりを目指し、ボランティア養成講座や、 福祉紹介と交流の場として川崎区社協福祉まつりを開催し ています。

また、地区社会福祉協議会ごとに福祉懇談会を開催し、「住 みよい町」や「災害時に向け平時からのつながりを持つ町」 等をテーマに、住民目線で地域福祉のあり方について話し 合い、活動実践の支援をしています。



川崎区内の駅・商店街等で 街頭募金を行いました! 今年度も、多くのご協力をいただき、10月1日より共同募金運動を実施いたしました。 皆様からお寄せいただいた寄付金は、神奈川県内および川崎区内の地域福祉活動のた





平成28年 11月30日現在

赤い羽根募金実績額	年末たすけあい募金実績額		
12,817,291円	5,106,991円		
1,527,450円			
1,085,305円	0円		
31,076円			
568,886円	0円		
18,027円	0円		
120,464円	0円		
16,168,499円	5,106,991円		
	12,817,291円 1,527,450円 1,085,305円 31,076円 568,886円 18,027円 120,464円		

上午 年度皆様からお寄せいただいた**「年末たすけあい募金」** の一部を川崎区内で地域福祉活動を行う団体に助成金として配分させていただきました。

みなさまのあたたかいご支援、ありがとうございました。

地域福祉活動助成金

川崎区内を活動拠点とし、地域福祉活動を行う民間の自主的な団体。

43 団体 2,544,000 円

川崎区子育てグループ助成金

川崎区内を活動拠点とし、自 主的な活動を行う親子で構成 された子育て団体。

18 団体 450,000 円

● 助成金配分団体の活動紹介

川崎区障害者スポーツ交流会

川崎区内で活動している身体障害者団体が集まり、年3回参加団体の会員や利用者が参加できる、スポーツ大会を開催している

団体です。9月30日(金)にボッチャをメインとしたスポーツ 交流会が開催されました。

ボッチャとはヨーロッパで生まれた、障害の有無に関わらず楽しめるスポーツです。 リオパラリンピックで日本代表が銀メダルを取ったことでも話題になりました。



チームで協力しながら、頭脳戦が繰り広げられていました。

「ちょこボラ!」

はじめのいっぽ 始めてみませんか?

~カフエボランティア養成講座~

学んだことをちょこっとボランティアに活かす、「ちょこボラ!」 おいしいコーヒーの淹れ方を学び、学んだことを活かして楽し くボランティアをしましょう♪ボランティアが始めての方も、 コーヒーが好きな方も、ぜひご参加ください!

10:00~12:30(予定)

場 所:川崎区本町1-1-1

母子育成会愛育会館黎明 7 階地域交流室

内 容:講義・実践定 員:20名(先着順)持ち物:コーヒーカップ

参加費:500円(当日集金)

申込・問合せ:

※詳細は区社協までお問合せください。

電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741 川崎区社会福祉協議会/

地域課

申込期間:1月10日

~1月31日



賛助会員 募集結果の 報告 ္

ご**賛同いただいた賛助会費額** (平成 28 年 11 月 30 日現在)

7,685,050円

今年度も、社会福祉協議会が行う事業や福祉活動に対し多くの区民の皆様から、ご協力・ご賛同をいただきました。深く感謝申し上げます。

なお、ご協力いただきました賛助会費の約7割は各地区社会福祉協議会による福祉事業(広報紙の発行、講演会の開催、高齢者ミニデイサービス事業、高齢者の会食会等)に、約3割は区社会福祉協議会による福祉事業(区社協組織運営、車イス等福祉用具貸出、区社協広報紙「ウェーブ」の発行など)に活用させていただきます。

地区社会福祉協議会の活動等紹介



に行われた青少年部会のボウ には、四月から九月までの間 季号と秋季号)」です。秋季号る広報紙「社協わたりだ(春 1 目の会田部長をはじめと 活動内容は、年二回発行す 九名で活動しています。 現在小田

取材や原稿依頼を行い、 対象に発行することとしてい 月までの間に行われる行事を しています。部数は各号とも それぞれの活動についての

れるよう、見守って行きましょう。

(第三十四号) は、十月から三

いただいているところです。 対象に社協の活動を周知して 学校渡田文化センターなどを としては賛助会員をはじめ各 に二千五百部作成し、配布先 これからも部員一同、より い広報紙を目指して取り組 地区内の中学校・小 を購入し夫 多く、遊んで クラブや子 ません。母親 婦共働きが が変化しております。それぞれが いる人はい 会の人達





渡田地区社協

広報部会の 取り組み

広報部会 副部長 秋元

明るくする運動などを対象と 児福祉部会の連合若竹会おた 第三十三号となりました。 その次に発行予定の春季号 親子体操や社会を 今年の秋季号は

大島地区社協

スポーツを通して



共に助け合う仲間

けをしたり、助け合いの気持ちが 間として一緒に活動をして、手助 けて行かねばなりません。それに 感謝とお礼を申し上げます。 になり活動が出来ます事に心から 2、お互いに心の通じ合う良き仲 大きな災害時にも要援護者を助 会員の皆さんに大変お世話 まっている時など民生委員と連絡 を取る事が必要です。共に助け支

点いていない、ポストに新聞がた 町内会、理事にお願いしています。 見守りネットワークをつくり、各 ポーツを通して町おこしやろうと 員を集めています。すぐに手伝 つけるよう、新聞や集金時、電気が しております。大島地区社協でも ました。いまいろいろな会で活用 が出来る、川崎区民会議の時も、 う時、チームの人達に声掛けし人 も、スポーツを通して、昔から町お から十人いないと出来ません。私 いろいろなスポーツを通して、野 こしをやって来ました。いざと云 人がいません。いかに多勢の人達 云う事で、カローリングをはじめ 人暮しの具合の悪い人を早く見

と十五年間で一・六倍に

なっています

防いだりする 遅らせたり、 とで、進行を 対応を取るこ 症は、適切な

ことが出来る

町内会にして行きたいと願っています。 高齢者も元気で安心して暮らせる明るい 地域の輪を広げ認知症の進行を遅らせ、 小田地区社協

みんなで取り組もう 認知症予防

理事・総務 田代 政弘

成二十五年に九五二名 成十年に五九三名、 齢者人口が増加し、 1 丁目町内会は、 浅田一・ 平平

向です。認知 方々も増加傾 高齢化と共 認知症の

導者がいて、色々な活動を行っ

また、幸いにも町内会には

ていただいています。

例えば健

しています。 歴史上の人物の逸話を聞いたり

ときには、詩の朗読をしたり、 タネット叩き・ゲーム遊び等々。 歌に合わせての体の動き、カス リズム体操)・懐かしい思い出の 康体操(ストレッチ・手遊び・

力の結果と感謝するしだいです。 みで予想以上の結果を出すことが出来す るか心配でしたが、回覧・掲示板・口こ ています。 なりますが、 した。これも、町内会役員及び会員の努 早いもので、 参加される方々の顔と名前がわかり 最初は、 毎回三十名前後の参加を得 取り組みを始めて二年に どのように呼びかけ

> されながら自動車のタイヤで練習 姫鼓の演奏を見た子供が入会を申 が中心の東鋼姫鼓と言います。発 供会役員の子供を強制的に参加さ 足当時は募集しても集まらず、子 した事を思い出しますが、今では 盆太鼓の練習を公園で蚊に刺 に所属する小学生の女の子 東鋼親和会の子供会

田島地区社協

あゆみ

いでいると五年後には、半数の方々が認 認知症予備軍といわれる方々が何もしな

知症になると言われています。





とうこうひめ こ 東鋼姫鼓 責任者 萩岡 久男

る人に喜びと感動を与えられた時

い子供達が練習を重ねて、見てい

入会してバチの握り方も解らな

年間二十回前後の演奏活動をして

箱根駅伝の応援太鼓に始まり

ベントにも積極的に参加させて頂

して、地域の祭り事、

川崎市のイ

福祉施設にボランティア登録

月第四木曜日十時~十一時三十分(五 防講座」を開催することにしました。

十二・三月は、

休み)七・八月は

子供会の朝のラジオ体操(七時

と共に行います。

地域包括支援センター介護支援専門員さ テーション地区担当の保健師さん・京町

^防」をするかを、田島地区健康福祉ス

我が町内会では、どのように「認知症

んと話し合い、次の日程にて「認知症予

います。 様に頑張りたいと思います。 重ねて、多くの演奏依頼を頂け なっています。これからも練習 ら六時迄演奏活動の無い時に行 をお借りして、 練習場所は渡田小学校の体育館 日曜日午後三時 か

感を学ぶ東鋼姫鼓でありたいと思

て協調性を学び演奏を通して達成 きな幸せを頂きます。練習を通 は、会場を後にする時子供達も大 ション住民の町内会への参加が少な

く、各町内の皆さんは苦労されて

中央第一地区社協

社協婦人部の 活動

理事 稗田

洋子

大 が所属しております中央第

しく思える行事の一つです。

写真を載せてい 楽しみました。 警察官の演技を 隊の演奏や女性 神奈川県警音楽 た。第二部では

ております。 十六町会という大所帯で構成され

数や行事のお手伝いをして下さる 人の数にも地域差を感じる社協で 向こうにある町会とでは、 駅に近い町会と国道十五号線の 最近ではマンションが増えて、マン 、住宅の

で風邪を引いてしまいました。 した。十月なのに、とても寒い日 活動したのは赤い羽根街頭募金で いると思われます。 私が社協の行事に初めて参加

当時は十六町会全部一緒でした。 で年三回実施されておりますが、 班と二つの班に別かれて、場所も 二ヶ所、それぞれに年四回、 又、老人会食会も今ではA班B 合同

る程の忙しさでした。今では懐か 備がとても大変で、当日も目が回 日も前から各町会での物品収集や てしまいましたが、一年おきに実施 倒されてしまいました。 者もボランティアも多人数の為、 値段付けに頭を悩ませたりと、進 していたバザーですが、これが又何 それから時代の流れで廃止になっ 初めてお手伝いした時は、

や利用者を収容できる場所の減少 で多くを占めている老人会食会で 問題が山積しております。 や、活動の担い手の老齢化など すが、料理を作るのに十分な設備 現在は、社協婦人部行事の中

ず少しずつ活動の輪を広げて行け とはせずに、会食会の問題に限ら たらと思います。 恵を出し合って、一気に解決しよう まっていただけるように皆さんの知 用者の方々には楽しく会食会に集 色々の問題が有る中ですが、利



中央第二地区社協

利用

社協新体制が 動き出しました

社協を知って頂く必 た事もあり、もっと 意見交換しました。 を開催し第二社協の 貧助会費が減ってき 今後の活動について 第一回役員会 月三十一日に



事もその一環です。山田新会長以下役員 要があります。この「ウェーブ」での記 それが賛助会費減に表れている訳です。 全員が一つになって動き出しました。 機関紙で、もっと分かり易く説明する必 は社協の活動を知らない人が殆どです。 を当たり前と思っていますが、一般の方々 人れる事にしました。私達は社協の活動 の中に分かり易く第二社協の活動状況を 「きずな」の体裁を刷新すると共に、記事 致しました。PRの一つとして機関紙の 先日六月二十八日に「第六十六回社会

藤岡 健祐

三百名の方が参

まし

た。

加して体育館が

杯になりまし

副会長

現して参りたいと存じます。 れました。今後更に検討を加えながら実 ますのでご覧下 しくお願い致します。 てるように進めて参りますのでどうぞ宜 月 このように第二社協は皆様のお役に立 平成二十八年の第二社協の事業内容です。 役員会で「地域福祉懇談会」が提案さ

十月 七月 三月 二月 老人部 福祉部 婦人部 婦人部 広報部 婦人部 広報部 福祉部 第六六回社会を明るくする運動開催 定期総会 スを作り高齢者の集いに贈呈 広報紙「きずな六三号」発行 広報紙「きずな六二号」発行 「箱根恵明学園」を研修訪門 研修会「歌って脳を活性化 認知症勉強会開催 赤い羽根街頭募金活動 古いネクタイでネックレ 春のバス旅行(静岡県)

十二月 十一月 清掃活動 第二社協「研修会」開催 認知症の方々との対面 歩け歩け運動

老人部

を明るくする運動」を川崎小学校で開催

大師第一地区社協

夏祭り町内会活動

青山 正明

が金幣を祀り、里人 六八〇年前)に山伏 一社の起源は古中島の神明神 南北朝時代(約

が練り歩き、

親睦・文化行 事としての運 な雰囲気での として、自由 交を深める場 地域住民の親 りを併催して 屋台を先頭に、 まりと伝えられています。 の鎮守の神として建立されたのが始 お祭りは普段静かな町内を囃子の

ŋ,

咲かせたり、悪童達を叱り飛ばした

小さな触れ合いの情景を多く目

滅多に外出しない老人と昔話に花を

単なる催事で はなく、盆踊

大変な賑わいになりま 大人神輿・子供神輿

す。近年では

が多くなりました。

に理解を得て積極的に参加する住民 事や境内で行われる盆踊りにも、 にすることができました。こうした祭

が、その成果も少しずつ見えてきま ればならないと訴え続けております 町会は『顔の見える組織』でなけ

行きたいと思います。 今後の大きな課題として取り上げて は、今一つ物足りなさを感じますが、 各町内会活動と地区社協の連携に

催事まで住民の皆さんのお骨折りを のお父さんお母さんのヤングパワー いただきました。青少年部・子供会 踊りのみの開催でしたが、準備 営を心掛けています。 平成二十八年は裏年に当たり、 経験豊かな老人クラブが協力し て、特に青少年部の模擬

シャッターを切る姿は微 店には、たくさんの子供 振る舞いは、 笑ましい情景でした。 が順番にやぐらの上で踊 達が集まり、その子供達 配られ好評を得ておりま た川中島恒例のスイカの お父さんお母さんの 会場全員に ま

盆踊りだけの年でも、

大師第二地区社協

地域福祉懇談会』

理事 髙橋 順子

を開催

さの言葉も有りました。

化してきている悩みや運営資金の大変

ボランティア団体では、

仲間が高齢

と大師第二地区社協の役員二十五人の ム・地域包括支援センター等、 グループホーム・各支援施設・老人ホー で参加)・作業所(車椅子で参加)・配食・ ている団体。母親クラブ 参加と成りました。 (子ども連れ 八団体

行われました。 課題を共有する為の場の趣旨のもとに の悩みや問題点、何が必要なのかなど、 体があるかを知り、それぞれにおいて 団体が参加し、同じ地域でどの様な団 ア団体等、地域で活動している様々な て『地域福祉懇談会』を開催しました。 一十六日(水)池上新町町内会館に 児童、障がい、高齢者、 大師第二地区社協のエリアで活動し が共催で、 師 第二地区 平成二十八年十月 |社協と川崎区 ボランティ



感じでした。 ない雰囲気で和気藹藹とすすめられた 活動している皆さん、初対面とは思え した。目標が同じ方向性を持ち地域で 施設の現状を話題に情報交換を行いま お互いに、普段活動している様子や

ればと思います。 がら世代を問わず福祉活動を進められ れぞれ地域に密着した活動を共有しな した。今後もこの様な場を継続し、 趣旨に少しは近づけたのではと思いま 仲間に、ボランティア団体や各施設と の交流を深める必要性を改めて感じ、 「つながりを大切に…」子ども達も そ

②恵まれない人の生活 ①国民全体の幸福

保証、とありました。

大師第三地区社協

田町2・3丁目町内会 我が町の"福 について

熊谷 俊和

ある種の福祉ではないでしょうか。 では二年に一度の稲荷神社の例大祭 作るというものの意味からいっても ますが、この様に自分達で楽しみを の、受けるもの、という感じがあり 二つ目は神輿の話です。当町内 福祉というとどうしても与えるも を十月二日に上田町町

した。 近隣町会等十七

内会と合同で開催しま

たくさんの車椅子の入 いたのですが、巡行時 す。事前に連絡はして 施設の葵の園がありま 巡行先に介護老人保健 御を行いました。その 応援を得て町内巡行渡 百四十名程の担ぎ手の にはその施設の玄関に

所者の方々と関係者の

誌を目指し受け継がれ、二十三年に

読みやすく、親しみやすい広報

あわせ』を年一回発行していま

着し、そこでいわゆる神輿のもむ さすという大きな動きを目の当りに した人たちは一様に感激の面持ち い担ぎ手によって神輿が玄関前に到 方が待っていました。 午後一時半頃でしょうか、 中には涙する車椅子の入所者も

百人近

②については関係されている方々が

相当する我が町の福祉ということで 日頃活動しているので、今回は①に

一例程御紹介したいと思います。

一つ目は、

年に三回~四回開催さ

というのはこういうところにもある のかなあと思い、ご紹介しました。 何人か見られました。 神輿の件についても、 私は先程の老人会もそうですがこ 福祉の原点

様本当に楽しそうにそして賑やかに 均年齢は八十才前後でしょうか。皆

参加者は毎回三十~四十名程で平

を弾ませ、私も思わず話の輪に

れる老人会(生き生きクラブ)の集

大師第四地区社協

高齢者活動について

広報委員長 岡田

トというクイズ性をもたせた昔懐か の皆さんも高齢です。 ちが多数参加、 九十歳代四名、 頂きました。会員は最高齢九十七歳 師百寿クラブ』の活動に参加させて やかに過ごせるようにと発足した『大 者同士が支えあい、生涯自立して健 で過ごすために」の取材のため高齢 想療法の一つであるミッケルアー 本年度のテーマ「いつまでも健康 絵画を使うことにより、コミュ そしてボランティア 八十歳代後半の方た 活動内容は、



音楽療法で元気を回復

また地域の絆を深められるように関 事を予定していますが、高齢者が住 ばし、孤立防止にもなり、さらに介 活動に参加する事は、健康寿命を延 る事を目指しています。このような ります。生涯自立して生活していけ す事で、自信を取り戻せるようにな 歌い、元気だった頃の自分を思い出 み慣れた地域で楽しく元気に暮らせ、 第四地区社協では、各種の講座や行 最近よく聞くようになりました。大師 護予防にもなると思いました。 症予防にもなります。また音楽療法 なかなか参加できずにいる方の声を 合わせて、昔の流行歌、 地域活動をする中で、様々な活動に 音楽療法士の弾くピアノに 童謡などを

を共有していきたいと思いました。 係機関と協力して、少しでも皆さま に参加して頂けるよう、さらに情報



平成29年度川崎区内老人いこいの家教養講座についてのご案内



川崎区内の老人いこいの家(通称いこいの家)では、平成29年4月から開催する教養講座の受講生を募集します。

・教養講座 内容と日程 下記参照 ・募集期間 2月1日~2月28日

各いこいの家にて受付をします ・募集方法 所定申込書を記入してください

※官製はがきを1枚ご持参ください

·受講者決定 3月初旬

(定員を超えた場合は抽選となります)

・結果発表 3月中旬にハガキでお知らせします

- ◎初めての参加者・受講者を優先します。
- ◎教養講座の受講料は無料ですが、講座によっては材料費がか かることがあります。 実費負担についてはご確認ください。
- ◎「定期的に開催する講座」以外に「単発・短期・その他の講座」 もあります。
- ◎詳細は参加希望する各いこいの家にお問い合わせください。

【教養講座】

[秋天明年]							
いこいの家 電 話 所在地	講座名 定 員 曜日·時間	講座名 定 員 曜日·時間	講座名 定 員 曜日·時間	講座名 定 員 曜日·時間	講座名 定 員 曜日·時間	入浴事業 11:00~	15:00
大 師 ☎ 277-7979 大師公園 1-4	脳トレ体操 25 人 第 4 月 13:30	ストレッチ体操 25 人 第 1・3 火 10:00	パソコン教室 10人 第1・3水10:00	歌って回想健康法 25 人 第 4 木 10:00		男性金曜日	女性 水曜日
小 田 344-3387 小田 2-16-9	みんなが元気に なる体操 25 人 第 1 月 10:00	やさしいヨガ 10 人 第 1・3 月 13:30	歌って回想健康法 25 人 第 4 月 13:30			男性月曜日	女性 金曜日
藤崎 222-7773 藤崎 4-17-6	大人のぬりえ 10 人 第 2・4 水 10:00	歌って回想健康法 30 人 第 2 木 10:00	脳トレ体操 25 人 第 4 金 10:00			男性木曜日	女性 火曜日
田島町 20-23	書道 12人 第1·3月10:00	みんなが元気に なる体操 25 人 第 2 月 10:00	歌って回想健康法 25 人 第1木9:30	手作り趣味教室 10 人 第 4 土 10:00		男性木曜日	女性 火曜日
大島 ☎ 233-8867 大島 1-9-6	みんなが元気に なる体操 25 人 第 2 月 13:30	囲 碁 15人 第1·3水10:00	折り紙 15人 第2木10:00	歌って回想健康法 25 人 第 2 木 13:30		_	
桜 本 ☎ 277-5125 桜本 2-5-2	歌って回想健康法 25 人 第 2 月 10:00	みんなが元気に なる体操 25 人 第 3 月 13:30	大人のぬりえ 20 人 第 2·4 水 13:00	ストレッチ体操 25 人 第 1・3 木 13:30	ひまわり体操 15 人 第 2 木 13:30	男性金曜日	女性 水曜日
京 町 ☎ 344-0184 京町 3-12-2	習 字 10人 第1·3月10:00	ちぎり絵 10 人 第 1・3 月 13:00	みんなが元気に なる体操 20 人 第 3 月 10:00	歌って回想健康法 25 人 第 4 月 10:00		男性水曜日	女性 金曜日
渡田 ☎366-4075 渡田4-12-20	みんなが元気に なる体操 25 人 第1月13:30	歌って回想健康法 25 人 第 2 月 13:30				男性 火曜日	女性 木曜日
殿 町 ☎ 287-9108 殿町 1-20-15	脳トレ体操 25 人 第 2 火 13:30	歌って回想健康法 30人 第4木13:30	パソコン教室初級 10人 第 2・4 金 10:00			男性 12:00 ~ 月·水曜日	女性 11:00 ~ 月·水曜日

【単発・短期・その他の講座】(各いこいの家にお問い合わせください)

折り紙⇒大師・藤崎・桜本・京町・渡田 小物・編み物・手作り⇒小田・京町・大島・殿町 ラベンダーの香りスティック作り⇒大島 絵手紙⇒渡田 ぬり絵⇒京町 足裏マッサージ⇒殿町



寄付者名(受付順)

平成 28 年 8 月 1 日~ 11 月 30 日

- ●川崎市立労働会館 様
- ●小田若手連 様

福祉用具 再利用

譲ります・譲ってください

川崎区にお住いの方々を対象に、 車いす、ベッド、

ポータブルトイレ等の

福祉用具を、譲りたい方と 譲って欲しい方との間で、 ご紹介しています。

現在譲りたい方から、ベッド、 ポータブルトイレ、車いすの 登録があります。

お譲りいただける方は、 川崎区社会福祉協議会 までご連絡ください。

電話: 044-246-5500 FAX: **044-211-8741**

メールアドレス: info@kawasakikushakyo.or.jp